

お祓いで開運招福

庭月観音

新春御祈禱会

仁王経祈願会

家内安全

交通安全

身体堅固

厄歳清浄

当病平癒



日時: 1月11日(日) 9時より

会場: 庭月観音本堂

ご利益法話

「世界のこころ
日本のこころ」

○日程

9:00 受付開始

9:30 祈禱(読み上げ)

10:10 ご利益法話

11:10 新春福引き大会

12:00 祝賀乾杯にて散会

○志納金

世帯祈禱(お札大 授与)

2,000 円

家族等の個人祈禱(お札小 授与)

1,000 円

お申込み・お問合せ 庭月観音 Tel55-2343

※ご希望の方には、正式なご案内を送付します。

～仁王經のご利益とは～

問1 仁王經とは？

答1 正式名称「仁王護国般若波羅蜜多經」。法華經、金光明最勝王經と合わせて護国三部經と言います。

問2 いつ頃から唱えられたの？

答2 齊明天皇6年(660年)5月、天皇即位の大仁王会が修せられたのが始まりです。その後、たびたび民衆のため仁王經が修された記録が残っています。

問3 仁王經には、どんなご利益があるの？

答3 万民豊樂による国家繁栄がもたらされます。

問4 他のお寺でも、仁王經祈願会を行っていますか？

答4 琵琶湖のほとり、天台宗寺門派総本山・三井寺(園城寺)でも、毎年1月8日にたくさんの僧侶が出仕し、行っています。

問5 どうして、日本の成立以来、現在まで仁王經が大切にされているのですか？

答5 『七難即滅 七福即生』(しちなんそくめつ しちふくそくしょう)という極めて有難い教えがあるからです。“七難がすなわち消え去り、七福がすなわち生ずる”のです。

問6 七難・七福とは何ですか？

答6 七難とは七つの災難です。
一難…“日月失度”(太陽と月の運行が狂うこと。)
二難…“星宿変異”(星の運行の異変)
三難…火災 四難…水災 五難…風災
六難…旱魃(かんばつ) 七難…賊(人災)
※七難を避けることが国王の重要な務めでした。
七福とは七つの幸福です。
長寿・富財・裕福・人望、
正直・清廉・威光・愛敬・大量

問8 七福神とは？

答8 恵比寿様(清廉・漁業・商売繁盛の神様)
えびす顔は尊顔だよ！
大黒様 (有徳・財宝・戦闘・食料の神様)
二俵の米俵に立ってるよ！
毘沙門天(仏法の守護神で、正義の戦神)
弁財天(音楽・弁舌才智・水・芸術の神)
愛敬を示す女神だよ！
福祿寿(長寿・富財・与宝・諸病平癒の神)
人々の安全と健康を守るよ！
寿老人 (福祿寿と団体異名)
布袋様(福運を授ける)
福耳で、見ていると心が福々しくなるよ！

問7 歴史上の人物で、仁王經を特に大切にされた方はおりますか？

答7 江戸幕府を開いた徳川家康です。
あるとき、将軍家康は、天台僧・天海大僧正に『国が栄えるようになり、人徳が高まるようにするにはどのような道が大切であろうか？』と問いました。
それに対し、天海大僧正は『仁王經などの經典に説かれている教えを大切にすれば、七難即滅し、七福即生します』と答え、七つの福德が人生にとっていかに大切であるかを説き、七福を家康が備えていることを諭しました。
家康は早速、狩野派の画家に七福の神々を描かせたそうです。
これが七福神のはじまりとされています。

問9 七福神が乗る船は？

答9 宝船

問10 七福神の七という数字にはどんな意味は？

答10 古来より七は聖なる数といわれてます。
お七夜、7人の侍、7観音、七草などなど！

江戸時代、元旦から七草の日まで七福神を巡る招福行事が大流行した。(正月の七福神巡り)
7という数字が特別に縁起がいいことを英語では “ラッキーセブン” といいます。